



日本共産党  
松戸市議会議員

こんにちは  
主な活動地域へ矢切・上矢切・三矢小台・小山・大橋・二十世紀が丘・松戸・根本・種野口・古ヶ崎・柴町・西馬橋・松戸新田(フイナオリの丘)他



6月議会を終えて

日頃より多大なるご支援をたまわり誠にありがとうございました。また参院選でもご支持ご支援いただき感謝申し上げます。残念ながら共産党は議席を減らしましたが、憲法を守り活かす政治を目指しあきらめず頑張ります。

さて、6月議会は市長選直後の議会でした。そのせいか、市民も議会も軽視した本郷谷市長の強硬姿勢があらわになっています。

【一般質問】

① 公園設置について…特に栄町西地域で公園が不足し、しかし急速に宅地化が進み、公園対象用地が減少しているため、早急に整備を進めるべきだが進捗は。

(答弁)公園整備の必要性は認識しており、そのためのガイドラインを策定する。また用地取得には、借地方式など公園と同等の機能を有する手法を検討する。

② 会計年度任用職員の労働条件について…賃金はほぼ最低賃金の1000円(千葉県最賃は953円)、雇用期間も1年限りの不安定雇用です。これらについての市の認識は。

(答弁)時給については令和4年度から1000円に引き上げた。雇用期間は5年間は可能だが、それ以降は再度の応募が必要と制度の説明に終始。

そもそも最賃も288円引き上げられており、最賃引き上げに伴う引き上げの範囲であり、市独自の引き上げ幅はわずか15円。暮らせる賃金と雇用の安定を求めました。

③

新拠点ゾーンと市庁舎について…昨年12月議会では「新拠点ゾーンへの移転はゼロベース」と答弁しました。しかし、土地取得費用の予算計上、新拠点ゾーンの区画整理事業などは着々と進められています。そこで「ゼロベース」の意味と、市長の諮問機関「庁舎整備検討委員会」と議会の特別委員会との関係について。

(答弁)新庁舎の建て替えについては「公共施設再編検討特別委員会」の意見を聞きながらよく議論して進める。『庁舎整備検討委員会』の意見は「特別委員会」に報告の上審議を進める。

実はこの一般質問の後、市が国へ新拠点の土地の取得要領書を「市役所用地」を目的として提出していたことがわかりました。議会では「ゼロベース」「議会の尊重」と答弁しながら、実際には「移転ありき」を進めていることが改めて明らかになりました。市民も議会も軽視するやり方は許せません。一緒に声を上げ、市民の声を聞く市政へと転換させましょう。

そのためにも11月の市議選は重要です。私も二期目に挑戦します。また日本共産党は4名から5名へと1議席増を目指します。みなさまのさらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

参院選…日本共産党は4議席  
比例3議席・東京で山添拓氏当選！



さいとう和子

大変お世話になりありがとうございます。公約実現に全力を挙げます。

日本共産党は残念ながら改選6議席から4議席へと後退。比例の得票は361万8342票(6.8%)でした。選挙区では東京の山添拓氏の議席を確保することが出来ました。

千葉県では比例で17万7867票(6.9%)、選挙区ではさいとう和子候補が19万4475票(7.65%)を得ましたが議席には及びませんでした。

ご支持、ご支援いただいた皆様にご心より感謝申し上げます。

【千葉選挙区の結果】

- 当 656,952 白井正一 自新
- 当 587,809 猪口邦子 自現
- 当 473,175 小西洋之 立現
- 251,416 佐野正人 維新
- 194,475 さいとう和子 共新
- 161,648 磯部裕和 国新
- 86,147 椎名亮太 参政
- 28,295 中村典子 N党
- 22,834 七海ひろ子 幸福
- 他5名

日本共産党松戸市議団

第14回 市政学習懇談会

日時 8月7日(日) 16:30~18:30

場所 市民会館 301号室

\*Zoomもあります。(要申し込み)

追ってツイッターなどで詳細をお知らせします。

〈弁護士の無料法律相談〉

毎月第3木曜日 14時~16時

電話予約制: 047-349-1544

〈生活相談〉 随時・受け付けます

090-4810-4828 (ミール計恵市議)

日本共産党発行



日刊紙 月 3,497円  
日曜版 月 930円

ミール計恵(かずえ) プロフィール

1969年8月6日生/市議1期目/  
東葛飾高校/都立大学法学部卒/  
法テラス/国際結婚/息子2人/テニス・ピアノ/平和で公正な社会を!!

【公共施設再編検討特別委員会】

「市が」移転ありきの要望書」国へ提出

市庁舎建て替えについて検討する本特別委員会が、議会閉会の2日前の6月28日に突然開催が決まりました。開催が突然という点も問題ですが、中身も重大な事実が明らかになりました。それは、土地取得の要望書を6月21日に国にすでに提出しており、その利用用途が『市役所用地』となっていたことです。市はこれまで「新拠点ゾーンへの移転建て替えはゼロベース」とし、移転ありきではないと説明してきました。しかし今回、ふたを開けてみれば市役所移転が前提の『土地取得要望書』が国へ提出されていたのです。

また市は今後の議論のポイントと、スケジュールについても示しました。今後の議論では『移転と現地建て替え』のより詳細なデータに基づいた比較検討を行い、議会の判断をおおぐ、9月議会ですぐに決めるというスケジュールです。議会の判断をおおぐといながら、移転前提でのスケジュールがすでに決められています。

そもそもこの特別委員会設置のひきがねになったのは、昨年6月の総務財務委員会でのまちづくり部長の「7月上旬までに移転か現地か決めてほしい」という発言でした。すぐに決められるほど情報提供されていない、ということでも市庁舎問題を審査する本特別委員会の設置が全会一致で決定され、この1年間で6回の委員会が開かれました。

その中で様々な論点がありましたが、やはり最も重要な問題は『どこに建てるか』という点です。移転となれば通常より多い3分の2の議員の賛成を必要とする重大な問題です。慎重に議論する必要があります。

しかし6回の委員会では、ほぼこれまでの市の説明の焼き直しで、現地建て替え論も根強く、移転が最適だと委員会の総意は得られていないのが現状です。

9月議会まで2か月を切りました。市の『候補地別比較表』ができるのは8月です。また『現地建て替え』も方法は一つではありません。わが会派では仮庁舎なしで新庁舎の建設ができる、本館前の現地建て替えが最適と考えています。

さらに問題は新館の耐震不足です。仮に移転建て替えとしても最短で6年はかかります。その間に震度6以上の地震が来たら倒壊の危険があります。

まずは耐震化、そして早く安くできる現地建て替えの検討も選択肢に入れるべきと求めました。9月議会までが一つの区切りです。「移転ありきを許さない」と声をあげましょう。

先生が足りない、松戸市の異常事態！！

～臨時教員採用の補正予算に賛成～

松戸市では今年、小中学校の正規教員が大幅に不足しています。

4月 207人、5月 217人、6月 226人と大変な数です。それを補うために多数の臨時の先生が配置されていますが、それでも足りず市内では教員不足が、4月 38人、5月 37人、6月 47人と増えています。そのため教務主任、教頭先生が担任をつとめ、時には校長先生も授業を行う、そんな異常な事態が続いています。

そこで市は急遽臨時教員を合計 75 名採用する議案を提案しました。緊急事態を回避するために必要な措置であり、共産党も賛成しましたが、この先生たちは単独で授業も担任も出来ません。

「時給 1470 円、長期休暇は仕事なし、雇用は来年 3 月 31 日まで」、この条件でどれだけの先生が来てくれるのでしょうか。

抜本的には正規の先生を増やすことが急務です。声を上げ、変えていきましょう！！



先生募集の市のツイート

【みわ由美県議レポート】



被害は深刻！ 松戸矢切ねぎ・キャベツ農家訪ね  
知事に緊急要望提出！！

6月3日の雹(ひょう)被害で大打撃を受けた農家の被害実態について、みわ県議らは、農家から聞き取りをして、県知事に緊急要望しました。県内被害総額は梨・キャベツ・ねぎなど17億6630万円におよび、松戸矢切のキャベツ畑は出荷直前でほぼ全滅。ねぎも

雹にうたれ消毒や肥料など、新たな肥料や殺菌剤などが必要で、農家は「見舞金」などによる支援をつよく求めています。

ところが、県は、みわ県議らの要望に対し、借金をする場合の利子についての支援はするものの、被害に対しての補償や支援は無し。一方埼玉県は高騰している肥料や殺菌剤などへの追加支援を予算化しました。

農業に冷たい熊谷県政の姿勢は大問題です。東京から松戸に入ると緑いっぱいに広がる矢切耕地は、気候危機打開のためにもなくてはならないかけがえのない農地です。

ミール市議と力合わせ、  
安心して農業が続けられる千葉県・松戸市に！

松戸市議会・全会一致で県に意見書提出  
松戸市議会では全会一致で被害農家への支援を国、県に求めました！！

ミールかずえの一般質問の回数(2018年12月～2022年6月)

・毎回必ず質問 (質問回数13回 (うち代表質問は2回))

質問内容(主なもの)と結果(◎→改善、着工 ○→前進 △→検討 ×→進展なし)

いつ	質問事項	結果	内容
'18年12月	栄町デコボコ道路	◎	今年から工事着工(4年間で完了予定)
〃	旧古ヶ崎南小学校体育館の利用	◎	議会直後に耐震不足が誤りとし利用再開
'20年12月	小金原4丁目側溝改善	◎	2022年の3月で工事完了
'19～'22年(7回)	新拠点ゾーンと市庁舎	○	特別委員会が設置され審議中
'19年、'20年	矢切耕地	△	市街化調整区域の見直し検討へ
'21年12月	コミバス	○	ガイドラインに基づき進行中(地域組織結成)
'21年12月	生活保護行政	○	受給者によりそった対応を行うことを確認